



2025年5月2日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年春闘No.15

2024年度推進ニュース③算374

発行責任者 小島 茂

## 第96回川崎メーデー・五月晴れの開催 400名結集・建交労からは13名参加！

第96回川崎メーデーは5月1日（木）10:00から文字どおり五月晴れの下で開催され、会場となった川崎市中原区の中原平和公園には400名の仲間が結集しました。建交労からは神奈川県本部の高橋書記長、川崎学童保育指導員支部の峰松さん、神奈川県南支部の小島委員長、清野副委員長、金崎書記長はじめ合同分会の佐藤、益山、河野、根井、和泉、大島、宮田、赤羽の合計13名が参加しました。



主催者挨拶をおこなう川崎労連の児玉議長



●K溢水の教員への損害賠償請求を撤回せよ  
●ぜん息患者医療費助成制度を復活せよ  
●広充せよ  
●の創設を  
●を中止、利益より安全重  
●幹線の建設は中止せよ  
●三大物流倉庫建設は中止せよ  
●消防危険箇所を早急に改善  
●しを豊かにする市政に

来賓挨拶をする神奈川県本部の高橋副議長

メーデーの起源や意義にも触れながら格差と貧困が広がる現状を変えるたたかいに決起しようと呼びかけました。来賓挨拶の最初に登壇した神奈川県本部の高橋副議長は現状を打開する労働組合運動の強化とともに参議院選挙などの選挙戦で政治を変えるたたかいの大切さを訴えました。つづいて、かながわ労働センター、川崎合同法律事務所、日本共産党が来賓挨拶を行ったあと、式典は文化行事・各界からの発言、デコレーション・コンテスト（アピール）、参加団体・争議団紹介、メーデースローガンおよびメーデー宣言の提案・採択、デコレーション・コンテストの審査結果発表・表彰とつづき団結ガンバロウで締めくくりました。

式典後は、中原平和公園から綱島街道を武蔵小杉駅前までデモ行進し沿道を行く市民と車両のドライバーに働くものの祭典メーデーをアピールしました。



デモ行進する建交労県本部の仲間



神奈川県南支部のメーデー参加者



連帯挨拶する日本共産党の議員等

神奈川県南支部は、大震災と豪雨災害からの復旧・復興が遅れている能登半島の現状に鑑みて建交労中央本部が昨年1月11日に呼びかけたカンパ活動を今年も継続しますのでご協力をお願いします。

建交労第2023-010号

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

中央執行委員長 角田 聖代



## 「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に“「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

**お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。**

以上

### 【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711  
（名義）建交労中央本部

### \* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195  
（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。